

News Release



2024年10月31日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
四 国 支 所

暖房、点検、ヨシ！

～5つの点検で火災を未然に防ぎましょう～ (四国地方における事故を中心に)

本資料は、製品評価技術基盤機構（以下「NITE（ナイト）」）が経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに対して行うもので、暖房器具の使用季節に伴い、毎年火災事故を含む重篤な暖房器具の事故が四国地域においても発生しています。

そこで地域でも寒くなった季節を安全に乗り切るために、四国地方4県であった暖房器具の事故事例等を補足的に紹介するものです。

1. 四国地方での事故

(1) 年別事故発生件数と被害状況

2019年から2023年の間にNITE（ナイト）に通知のあった製品事故情報^{※3}のうち、四国地方4県（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）で発生した暖房器具の事故は 13件（石油暖房器具：9件、電気暖房器具：4件）ありました。また、13件全てが火災を伴った事故でした。

事故の被害状況では、13件の事故のうち「死亡」が1件（石油暖房器具）、「重症」が0件、「軽症」が2件（石油暖房器具）、「拡大被害」が10件（石油暖房器具：6件、電気暖房器具：4件）、「製品破損」が0件です。

事故件数等の詳細については、年別事故発生件数を表1-1、1-2。被害状況別事故発生件数及び被害者数を表2-1、2-2。原因区分別事故発生件数を表3-1、3-2に示します。

なお、物的被害（製品破損又は拡大被害）があった場合、人的被害（死亡、重傷、軽傷）を伴っているのは、人的被害の区分での集計となっております。

表1-1. 年度別暖房器具(石油暖房器具)による火災事故発生件数

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
発 生 年	2019年 火災事故	2	0	1	0	3
	2020年 火災事故	1	1	1	0	3
	2021年 火災事故	0	0	1	0	1
	2022年 火災事故	0	0	0	2	2
	2023年 火災事故	0	0	0	0	0
合計		3	1	3	2	9

表1-2. 年度別暖房器具(電気暖房器具)による火災事故発生件数

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
発 生 年	2019年 火災事故	0	0	1	0	1
	2020年 火災事故	0	0	0	1	1
	2021年 火災事故	0	0	1	1	2
	2022年 火災事故	0	0	0	0	0
	2023年 火災事故	0	0	0	0	0
合計		0	0	2	2	4

表2-1. 被害状況別火災事故発生件数及び被害者数(石油暖房器具)

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
被害 状況	死亡	0	0	1	0	1
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	2	2
	拡大被害	3	1	2	0	6
	製品破損	0	0	0	0	0
	被害無し・不明	0	0	0	0	0
合計		3	1	3	2	9
被害 者 数	死亡	0	0	2	0	2
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	2	2
合計		0	0	2	2	4

表2-2. 被害状況別火災事故発生件数及び被害者数(電気暖房器具)

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
被害状況	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0	0
	拡大被害	0	0	2	2	4
	製品破損	0	0	0	0	0
	被害無し・不明	0	0	0	0	0
合計		0	0	2	2	4
被害者数	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0

表3-1. 原因区分別火災事故発生件数(石油暖房器具)

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	0	0
	B: 製品および使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送などに問題があったもの	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	1	0	1
	F: その他製品に起因しないもの	1	0	1	2	4
	小計	1	0	2	2	5
G: 原因不明なもの (G3を除く)		2	1	1	0	4
H: 調査中		0	0	0	0	0
合計		3	1	3	2	9

表3-2. 原因区分別火災事故発生件数(電気暖房器具)

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	2	2
	B: 製品および使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	2	2
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送などに問題があったもの	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	0	0	0
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
G: 原因不明なもの (G3を除く)		0	0	2	0	2
H: 調査中		0	0	0	0	0
合計		0	0	2	2	4

(2) 四国地方において発生した事故の事例

① 2020年 11月、高知県、40歳代・女性、拡大被害

品名：電気温風機（セラミックファンヒーター）

【事故の内容】

電気温風機（セラミックファンヒーター）を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

電気温風機（セラミックファンヒーター）底部の内部配線のカシメ接続部に焼損及び電源コードの半断線が認められたことから、内部配線のカシメ不良により接続部付近の電源コードが過熱し、出火に至ったものと推定される。

② 2022年 2月、高知県、年代・性別：不明、拡大被害

品名：電気温風機（セラミックファンヒーター）

【事故の内容】

店舗で電気温風機（セラミックファンヒーター）及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

電気温風機（セラミックファンヒーター）の製造不良により、内部配線が損傷されたため、使用に伴い半断線状態となって異常発熱し、出火したものと推定される。

③ 2021年12月、愛媛県、80歳代以上・女性、拡大被害

品名：石油ストーブ（開放式）

【事故の内容】

異音と異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。

【事故の原因】

石油ストーブの置台に堆積した大量の埃が、給気口を塞いで給気不足が生じ、不完全燃焼によって未燃灯油や煤が燃焼筒周辺の部材に付着。更に吹き返し現象によって空気空気吸入口から炎が吹き出して置台の埃に引火したものと推定される。

なお、本体側面の「使用上のご注意」には、「2か月に1回付着したごみや埃をふきとってください。」旨、記載されている。

④ 2021年2月、徳島県、80歳代以上・女性、拡大被害

品名：石油ストーブ（開放式）

【事故の内容】

事務所で当該製品を使用中、当該製品の周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

石油ストーブの給気口にほこりが付着していたことで、給気不足による不完全燃焼を起こし、未燃ガスが燃焼筒内に堆積した状態であったため、使用時の炎が引火して出火したものと考えられるが、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった

2. 事故の再現実験映像について

映像(動画・写真)をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 日進高松ビル5F

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 四国支所

担当者：下川、佐藤

電話：087-851-3961